

掛川市内区長説明会質疑応答一覧

※いただいたご質問の中から主に不適切事案に関して記載しています。

	質問内容	回答
1	今回の件は、「誰がどのレベルまで知っていたのか」「誰が不正を指示したのか」が今になっても「分からないまま」なのはおかしい、上層部の指示なく現場が勝手に不正を行うとは考えにくい。 国の規制と異なることを行うのであれば、事前に国と協議、確認すべきであり、独自判断はおかしい。 調査結果が出ていないことを理由に説明できない状態が続くと、信用は得られない。 内部でやっていることを内部で評価しているだけでは信用できない。隠し事をしているように見える。情報をオープンにして欲しい。期待していたのに残念。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
2	意図的な方法で地震動を設定した疑いがあると書いてあるが、意図的にやらなければいけない理由があったのか。	本事案が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めています。 第三者委員会は当社から完全に独立して調査を行っているため、その調査内容を当社が把握できない状況にあります。 今後、調査の中で原因や背景が明らかにされるものと考えています。第三者委員会の調査結果がまとまりましたら、地域の皆さまへ説明させていただきます。
3	発電所安全性評価は、不正があった以上「安全です」という社内評価は信じにくい。	当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事案を起こさないという覚悟を持って、今回の事案の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきますと思います。
4	改造工事用地震動と基準地震動はどれくらいの差があったのか。数値に近いのに、なぜ不正が生じたのか。評価のやり直し後、現行設備が安全と言い切れるのか。	当社が自主的に策定した改造工事用地震動は、3・4号機で1200ガル、5号機で2000ガルとしており、今回不適切な取扱いの疑いがあった基準地震動と、揺れの大きさとしては概ね同程度と評価しています。ただし、地震動の評価は単純に数値のみで判断できるものではなく、波形や特性なども含めた総合的な評価が必要です。 当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事案を起こさないという覚悟を持って、今回の事案の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきますと思います。
5	南海トラフ巨大地震が現状で発生した場合の浜岡原発の影響、被害はどうか。	内閣府の南海トラフ巨大地震モデルに余裕を持たせて、当社が自主的に策定した改造工事用地震動を用いて、同クラスの地震に対しても、十分な耐震性を確保していることを確認しています。
6	燃料プールの水が早く抜けて、燃料が露出するまで約1か月と記載があるが、露出した場合どれくらい危険な状態にさらされるのか。どこまで熱を持ち、どのような放射性物質の放出が想定されるか。福島のようなことになるのか。	燃料プールへの注水が停止した場合、燃料の露出までには約1か月かかりますが、可搬型注水ポンプによる注水等の注水措置を講じて、人の手により水位を維持し、燃料の露出を防ぎます。 万が一、燃料が露出した場合は、放射性物質の放出が想定されますが、複数のフィルタにより放射性物質を除去した上で建屋内の気体を排気します。
7	燃料プール水の冷却、閉じ込めにかかる年間経費はいくらか。電気料金が上がるのか。	燃料プールに限らず、発電所の安全を維持していくため、今後もしっかりと対応してまいります。
8	原子力発電は制御棒等で常時制御が必要であり、廃棄物の地層処分も決まっていなことから欠陥発電ではないか。調査結果次第では廃炉も視野に入れているのか。	当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事案を起こさないという覚悟を持って、今回の事案の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきますと思います。
9	この説明は、地区としてどこまでやっているか。	掛川市では、全33地区の区長会にてご説明をしております。
10	停止後15年経過している配管、弁、原子炉圧力容器等の劣化状況、寿命は何年か。	配管、弁、原子炉圧力容器等発電所の設備は点検頻度を定めて定期的に点検を行い健全性を確認しています。
11	原子力は国策であり、国が支える前提で倒産しないとの甘えがあるのではないか。	本事案の背景や原因については、第三者委員会で調査を進めています。調査結果を踏まえ、二度と同様に事案を起こさないことが当社の責任であり、覚悟を持って再発防止策に取り組み、信頼回復に努めてまいります。
12	問題点は基準地震動を甘く見積もっていたという事か。	正規の方法で基準地震動を評価した場合の結果については、現時点では把握できていないため、甘く見積もっていたかどうかお応えできる状況にありません。第三者委員会において調査を行っており、結果が判明次第、皆さまにご説明させていただきます。
13	有事の際に可搬型動力ポンプを動かす人の確保は出来るのか。	使用済燃料プールの水位が燃料の上端まで低下するには1か月以上を要するため、その間に十分な注水を行える体制を整えています。 発電所内には7日間以上対応可能な水や燃料を確保しており、その後についても外部からの支援を受けながら、継続的に注水できる体制を確保しています。
14	M9クラスに余裕を持たせた改造工事用地震動が元々あるのに、何故、基準地震動を策定しなければならないか。	基準地震動は新規基準に基づき策定・審査されるものです。一方、改造工事用地震動は、設備の耐震性を確認するため当社が自主的に設定した地震動で、主要設備の耐震性を確認しています。
15	何故そんな事してしまったのか。これから中電さんが示すものすべてを疑ってしまう。	本事案により地域の皆さまにご心配をおかけしており、深くお詫び申し上げます。現在、当社から独立した第三者委員会による調査および原子力規制庁の検査が進められており、当社はこれらに真摯に対応しています。調査結果を踏まえ、再発防止策を着実に進め、あらためてご説明します。
16	3ヶ月も経つのに、何故、原因が解らないのか。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会により事実関係の調査が進められています。調査結果がまとまり次第、適切に皆さまへ説明してまいります。
17	基準地震動は、事業者ではなく国が示すべきではないか。	基準地震動は、新規基準に基づき、事業者において策定するものです。
18	原子力発電を使うメリットは何か。	電力需要が増加していく中で、脱炭素社会の実現やエネルギー安全保障の面から原子力発電は非常に有効であり、浜岡原子力発電所の重要性、必要性について何ら変わるものではないと考えています。 当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事案を起こさないという覚悟を持って、今回の事案の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきますと思います。
19	本事案は、ここに説明に来てくださっている現場の方々ではなく、名古屋の本店にいる方に原因があったとは思いますが、中電さんの組織風土という根本的な所に問題がある。 常に誠実に物事を進めることが大切であると感じる。私は将来的には再稼働してほしいと思っているため、中電さんには0から頑張してほしい。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
20	第三者委員会の調査結果から、原因と対策が分かたら今回のように説明に来て欲しい。	調査結果については、第三者委員会の結果がまとまり次第、適切なタイミングで皆さまにご説明してまいります。
21	説明では、安全性は高いレベルに聞こえる。一方で、基準地震動の改ざん、入れ替えのような行為があったかもしれないのだが、浜岡は安全なのか。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
22	第三者委員会はどうなっているのか。弁護士中心であり、素人目線に見えるが、原子力規制委員会のような専門性の高い組織が徹底的に調べた方がよいのではないか。	第三者委員会は、当社と利害関係のない弁護士3名で構成され、当社からは事実関係の調査・認定、原因分析および再発防止策の提言を依頼しています。地震動という専門性の高い分野については、地震分野の専門家・有識者をアドバイザーとして起用し、当社から独立した立場で調査が進められています。
23	国の審査の基準に従って正しく基準地震動を策定していれば、安全性に問題はなかったのか。	新規基準は原子力施設の設置や運転等の可否を判断する基準で、国の審査の基準に従って正しく基準地震動を策定し、その他の項目も含め許可を得ることができれば原子力発電所を運転することができます。
24	社員一人一人の教育はどうなっているのか。上の方がどんなに厳しく見えても、最終的にそこを作っている人たちが上に付度していたら意味がない。そのような付度が働かないような教育をすることが大事。そういう教育がなされていれば、今回のような事案は、起きなかったのではないかなと思う。その辺はどのように考えているのか。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
25	第三者委員会は素人の目だと思うので、それよりも原子力規制委員会で、調べてもらった方が早いんじゃないかなと思うが、いかがか。	第三者委員会は、当社と利害関係のない弁護士3名で構成され、事実関係の調査等を行っています。基準地震動の評価は高度に専門的な内容を含むことから、必要に応じて専門家や有識者の助言を受けながら調査を進められる体制としています。また、原子力規制庁の検査も進められており、当社はこれらに真摯に対応している状況です。調査結果を踏まえ、あらためてご説明します。
26	3号機、4号機、5号機の寿命はどうなっているのか。	今回の不適切事案に係る運転期間延長認可申請時の扱いについては、監督官庁である経済産業省が判断することになるため、当社からは確定的なことは申し上げられない状況にあります。 まずは事実関係の解明と再発防止に全力で取り組みます。
27	再稼働はするのか。再稼働まで5年、10年かかると、廃炉になってしまう可能性もあるのか。	再稼働については、現時点でお答えできる状況にありません。まずは事実関係の解明と再発防止に全力で取り組みます。
28	「説明と異なる方法や意図的な方法で地震動を選定していた疑いがあることを確認した」との事だが、現時点では疑いであり、意図的な方法で地震動を選定していなかった事も有り得るのか。また、確認したのは中部電力自身なのか。	「疑い」という表現については、社内調査段階では、データそのものや関係者間の詳細なやり取りを含めた十分な事実確認ができなかったため使用しています。今後、調査結果を踏まえて適切に整理していきます。
29	改造工事用地震動は、国の審査を受けていないという認識で良いのか。	改造工事用地震動は、福島第一原子力発電所事故後に、当社が自主的に設備の耐震性を確認するために策定したものであり、国の審査対象ではありません。
30	駿河湾を震源とする地震で、なぜ3号機・4号機・5号機のガル数が異なるのか。	5号機の揺れが大きくなる要因として、地下に地震動を増幅させる特性があることが確認されています。改造工事用地震動では、この特性を踏まえ、十分に余裕を持った地震動を想定しています。
31	放射性物質が漏えいした場合の対処方法は、どうなっているのか。	放射性物質が漏えいした場合、建屋内の放射線モニターで検知し、原子炉建屋の空調系を隔離し、非常用ガス処理系にて放射性物質が大気に放出されることを防ぎます。なお、燃料プールに保管している使用済燃料の露出までには約1か月かかりますが、その間に、可搬型注水ポンプによる注水等の措置を講じて、燃料の損傷を防ぎます。
32	浜岡原子力発電所をあの場合に建設したことは、成功だったのか。失敗だったのか。成功だったと言えるならば、何を以て成功と言えるのか。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事案であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事案の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
33	使用済燃料は、いつまで保管しておくのか。	日本では、原子燃料サイクルの推進を基本的方針と位置づけて、現在、青森県六ヶ所村で再処理工場の建設が進められています。当社も、国の方針に従い、再処理を行うまでの間、使用済燃料を適切に保管してまいります。
34	「第三者委員会による調査、原子力規制庁による原子力規制検査が進められている」との事だが、今回の不適切事案の究明等を全て外部機関に任せている感じがする。中部電力としても、何か調査したり、再発防止策を策定しているならば、それも資料の中に記載した方が良いと思う。	本事案の詳細な経緯や背景については、第三者委員会により事実関係の調査が進められています。 また、社内でも、組織風土やガバナンス、コンプライアンス意識などについて課題の洗い出しを行っており、会社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための対策を検討・実行してまいります。今後、調査結果が出ましたらこれを踏まえ、再発防止策の策定・実施を着実に進め、地域の皆さまにあらためてご説明します。
35	使用済み燃料の熱は十分に低下しているとのことだが、具体的に数字で示して欲しい。	外気温の影響もありますが、使用済み燃料を保管する燃料プールの水温は30°C前後で推移しています。

36	「改造工事用地震動」という言葉の意味がわかりづらい。一般の人にも分かり易いような言葉や表現で説明していただきたい。	改造工事用地震動は、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて、内閣府が作成した「南海トラフ巨大地震モデル（M9）」に余裕を持たせて、当社が自主的に設定した地震の揺れです。 同クラスの地震に対しても十分な耐震性を確保していることを確認しています。引き続き、分かり易い表現となるよう心がけてまいります。
37	不適切事象があり、今の発電所の安全確認をしていると思うが、安全確認は誰がやっているのか。行っている安全確認は、設備の点検という意味でいいのか。	安全確認は浜岡原子力発電所の当社社員が、通常の設備点検とは別に、追加で点検や確認運転などを行い、健全性を確認しています。
38	第三者委員会の3人の弁護士は原子力のことが分かるわけではないと思うが、調査はできるのか。	基準地震動の評価は高度に専門的な内容を含むことから、必要に応じて専門家や有識者の助言を受けながら調査を進められる体制としています。
39	今回の事象は、とどのつまり過小評価したということか。例えば国に大きさが10の地震に耐えられると報告していたが、実際には8ぐらいの実力しかなかったということか。	地震動の策定方法が、どのような意図で行われたのか、また適切であったかについては、第三者委員会において調査を進めています。調査結果を踏まえ、再発防止策を着実に進め、地域の皆さまにあらためてご説明いたします。
40	今回の事象は審査をしている途中で、国に示した方法と違った方法でやっていたことが明らかになったということか。	その通りです。 昨年5月に原子力規制庁からの連絡を受け、1回目の面談が5月に行われました。 その後10月に、規制庁から当社の説明根拠となる委託報告書等の原本の確認要請があったため、社内確認したところ、今回の事象に関する記載が読み取れたことから、社長等へ報告するとともに、外部の弁護士による関係者への聞き取り調査などを進めた上で、1月5日に本事象を公表しました。また、同日、独立した第三者委員会を設置し、社内調査の内容を引き継ぎました。現在はその第三者委員会の中で調査が進められています。
41	原発が地震に耐えられるか耐えられないかという審査の途中でとまってしまったため、今の状態が安全かどうか心配である。早いところ、この適合性審査を受けられるような体制を整え、審査を受けて安全であることを示して欲しい。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事象の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
42	「一刻も早く本事象の事実関係の把握と原因究明を図る」と言っているが、もう分かっているのではないか。	本事象の原因や経緯については、第三者委員会により事実関係の調査が進められています。現時点では事実関係や原因について調査結果が出ておらず、当社の聞き取り調査で確認した事実は限定的となっています。今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ原因と再発防止策について、地域の皆さまに説明してまいります。
43	このような説明会では時間が限られており質問できないので、事前に他会場で出たQ&Aをまとめた物を配布していただきたい。また、今回の不適切事象に対する対応の話と使用済み燃料の安全性や燃料プールの安全性の話は関係ないので、配布された資料から削除した方がよい。	説明会にていただいた質問を当社ホームページに掲載し、皆さまに共有してまいります。 燃料および燃料プールの安全性については、本事象を受けて、地域の皆さまから現在の発電所の安全性についてご不安の声をいただいたことから、ご説明しております。
44	掛川市の住民は30キロ圏内に入っている。原発が止まっても安全ではないから、何かあった時には逃げることも考える必要がある。今回のように話し合う機会を、これからもきちっと持っていただきたい。	今回の事象により、皆さまを裏切る結果となってしまったこと、また、発電所の安全性そのものに対してもご不安をおかけしたことについて、お詫び申し上げます。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、原因究明と再発防止策に取り組み、信頼回復に向けて対応してまいります。
45	不正が発覚することなく続いていた場合、100%安全と言い切れたのか。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事象の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
46	新規規制基準が策定された2013年以前の安全性しか担保されていないので、2013年以降の安全性は全く担保されていないとの認識でよろしいのか。	当社が自主的に策定した改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえて、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて、内閣府が作成した「南海トラフ巨大地震モデル（M9）」に余裕を持たせた地震の揺れで、発電所の主要設備について十分な耐震性が確保されていることを確認しています。
47	自主的な取り組みは中部電力が独自に行っており、国の審査を受けていないので適正とは言えないのではないか。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事象の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
48	燃料プールは厚さ約2mの鉄筋コンクリート製であるが、ひび割れ等は大丈夫なのか。	燃料プールは、側面や底面を貫通する配管などがなく水が漏れるリスクが小さい構造になっています。また、当社が自主的に設定した改造工事用地震動（3・4号機1200ガル、5号機2000ガル）に対して耐震性を確認しています。
49	工事を発注する場合や、資料を提出する場合は、社内で上長の承認を受けて行うのが常識であるが、それが実施されていなかったということなのか。	本事象の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事象を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
50	第三者委員会の調査結果は、いつ頃公表されるのか。	第三者委員会の調査結果については、結果がまとまり次第、適切なタイミングで皆さまにご説明してまいります。
51	浜岡原子力発電所を何度も視察して、安全性を確認していただけない今回の事象は本当に残念でならない。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事象の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
52	日本のエネルギー事情を考えた場合、自分は原子力が必要だと思うが、データのことは素人には分からないので、今回の事象について事実関係を明確にして、早く調査結果を公表した方がよいと思う。従って、いつまでに・何を・どのように公表すると言いつつ切った方が市民は安心するし、信頼も早く取り戻せると思う。	第三者委員会の調査結果については、結果がまとまり次第、適切なタイミングで皆さまにご説明してまいります。
53	今後説明や報告がなされると思うが、なるべく分かり易い資料の作成をお願いしたい。	調査結果や再発防止策等については、まとまり次第、分かりやすい形で公表・説明してまいります。
54	一番知りたいことの説明が無い。指示は誰がしたのか。忖度があったのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事象について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において詳細な事実関係の調査が進められています。第三者委員会の結果がまとまり次第、適切なタイミングで皆さまにご説明してまいります。
55	今回の不正行為がわかった経緯は、内部告発ではないのか。	内部通報の有無や内容については、通報者の保護の観点や第三者委員会の調査に差し支える可能性があるため、お答えできない事項となっています。 当社としては、第三者委員会の調査結果を踏まえ、原因究明と再発防止策に取り組み、信頼回復に向けて対応してまいります。
56	工事用地震動とは何か。審査は続くのか。これまでのことが無駄になるのではないのか。	改造工事用地震動は、内閣府の南海トラフ巨大地震モデルに余裕を持たせて、当社が自主的に策定した地震動です。 今後の審査について、現時点で具体的にお答えできる状況にはありません。まず本事象の原因究明と再発防止策の実行が最優先であると考えています。
57	人の生命にかかわるものであり、透明性が重要。そもそもやり方がおかしいと思う。動いてくればと期待していた。調査は徹底的にお願いしたい。	本件に関し、発電所の安全性にご不安をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事象の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
58	福島第一原子力発電所の事故があったが、あの規模の地震が来たら浜岡は大丈夫なのか。	当社が自主的に策定した改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、内閣府が作成した「南海トラフ巨大地震モデル（M9）」に余裕を持たせて、当社が自主的に設定した地震の揺れです。 同クラスの地震に対しても十分な耐震性を確保していることを確認しています。
59	技術的なことは良く分からないが、何故過小評価ということが発生してしまったのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事象について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において詳細な事実関係の調査が進められています。当社は、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
60	不正は隠し通せると思っていたのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事象について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において詳細な事実関係の調査が進められています。当社は、第三者委員会の調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
61	素人には、この資料は難し過ぎて全く理解出来ない。今後も、このような場で報告や説明があるのであれば、誰が見ても分かる資料の作成をお願いしたい。	分かり易い資料の作成に努めてまいります。
62	不適切な内容①と②が難し過ぎて理解出来ない。	分かり易い資料の作成や説明に努めてまいります。
63	何故、過小評価ということが発生してしまったのか。原因は何だったのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事象について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において詳細な事実関係の調査が進められています。第三者委員会の結果がまとまり次第、適切なタイミングで皆さまにご説明してまいります。
64	代表波の選び方が、津波対策や設備対策に影響してくるのか。	現時点での基準地震動より大きくなった場合、耐震評価や設備の設計に影響する可能性があります。一方で、津波については評価の方法が異なることから、基準地震動が大きくなった場合でも、現在の基準津波の評価結果に影響を与えるものではないと考えています。
65	福島第一原子力発電所の事故は、電源喪失によるものだと聞いているが、今回の不適切事象はそれとは全く関係ないのではないのか。	福島第一原子力発電所の事故を踏まえて見直された新規規制基準への適合性を確認するための国の審査の中で、不適切な事象があったものです。原子力発電所の安全上重要な施設の耐震安全性を評価するために必要な地震動の策定で、国へ説明した内容と違う対応を行っていました。
66	万一に備えて設備等は、かなり安全裕度を持たせていると思うので、個人的には過小評価してもあまり問題ないと思うが如何か。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事象について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において詳細な事実関係の調査が進められています。第三者委員会の結果がまとまり次第、適切なタイミングで皆さまにご説明してまいります。
67	一度失った信頼を取り戻すのは並大抵ではないが、中部電力として今後どのようにして信頼回復のための活動を行っていくのか。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事象の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
68	基準地震動は、中部電力が決めるのか。中部電力が決めたものを、国の審査ですり抜けてしまったということか。	基準地震動については、当社が策定しています。 不適切事象についての原因や背景、関係者の関与などについては、現在第三者委員会の調査が進められています。当社としては、第三者委員会の調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
69	発電所の築年数を考えたら、コンクリートの劣化もあると思うが、それを踏まえても安全と言えるのか。	耐震性の評価においては、経年劣化も考慮し評価を行っており、健全性を確認しております。

70	燃料プールは原子炉建屋の最上階にあるが、そこでないと駄目なのか。	浜岡原子力発電所では、使用した燃料の原子炉からの取り出し等も考慮し、原子炉建屋最上階に燃料プールを設置しております。燃料プールは厚さ約2mの鉄筋コンクリート製で、側面や底面を貫通する配管がなく、漏えいリスクが小さい構造です。改造工事用地震動に基づき耐震性を確認しており、安全に保管できています。
71	ガル数がこんなに小さい値だったのか。他の大地震では、もっと大きな値だったような気がする。そもそも浜岡の地盤は、大丈夫なのか。	原子力発電所は固い岩盤に直接設置しています。固い岩盤での揺れは、地表に比べて、1/2～1/3程度になると言われています。また、浜岡の地盤に関して国の審査を受けています。
72	再稼働自体は賛成。人命に関わることなので、安心の上に安心を重ねて努めてほしい。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事案であると極めて深刻に受け止めております。現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事案の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
73	本日の説明は、区長への説明でOKにしないで、区民への説明も考えてほしい。	現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
74	偽造をしてしまった事案と理解する。コンピューターに入力しているのは人間であるため、そこで、さじ加減が生じる。本事案は要するに人災だと思う。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
75	厚さ2mのプール壁に耐用年数はあるのか。また、重要な施設であれば、プール壁も2重化にする必要はないのか。	各設備については、定期的に点検をしております。また、各設備については、国の許可を得た構造で設置しています。
76	資料にある健全性の確認は誰が実施したのか。不正をした会社が実施しても信用できない。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事案であると極めて深刻に受け止めております。現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事案の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
77	今回の事案は個人で行ったものではなく、組織的にやったということか。また、外部通報なのか内部通報なのか。自分がやると自白する者もいなかったということか。一番秘密を知っている部長クラスは知っていたはずだと思うが。仮に組織ぐるみでやったことになると課長クラスまで知っていたのか。情報が社内で広がると、絶対にリークされる。せつかくここまで防波壁など構築してきたのに、不正が発覚すると、その努力も一瞬で水の泡。要するに今時点で、責任を取る奴はいないということか。浜岡原発の危険性への対策については、使用済燃料を如何に津波から守ることに尽きるのかということか。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
78	2013年に改造工事用地震動を用いて耐震安全は十分確保している中で、意図的に地震動の策定を操作（不正）するのは何故なのか。何らかの不安があったのではないのか。地震に対して自信がありますと言っておきながら、意図的に何か操作を加えたことは、開発陣なのか経営陣なのかはわからないが、一抹の不安がなければ普通そのようなことはやらないはず。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
79	当初、使用済燃料はどこへ運び出す計画だったのか。南鳥島、北海道2ヶ所（寿都町・神恵内村）などで地層処分地の調査が行われているが、最終的に低レベル、高レベル両方の放射性廃棄物を持っていくのか。浜岡の使用済燃料は最終的にどこへ置かないということか。	使用済燃料は、再処理工場で切断・溶解し、使える物を取り出して新しい燃料を作り発電所で使用する原子燃料サイクルを基本としています。再処理工場は、現在、日本原燃株式会社が青森県の六ヶ所村に建設しています。使用済燃料については、再処理工場へ運び出すまでの間、発電所内で適切に保管していきます。また、放射性廃棄物の処分先の確保は電力共通の課題であることから、電力業界全体で連携して取り組んでまいります。
80	今日は区長会の中で説明を受けているが、御前崎市では住民説明会をやっている。この住民に対しても御前崎市同様に説明会を開く予定はあるのか。	現在、第三者委員会による調査を進めており、その結果を踏まえて、当社として説明責任を果たしていきます。本事案に至った背景や関係者の認識について、現在第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
81	基準地震動の策定は、発電所を設計する会社が行うのか。不正に関しては、これから規制委員会も第三者委員会も調査して明確にしていくようだが、かなり時間がかかるのか。第三者委員会とはどのような組織なのか。この調査は3年くらいかかるのか。	基準地震動については、当社が策定しています。第三者委員会については、3名の弁護士で構成しており、いずれも当社と利害関係のない独立した立場の弁護士です。また、調査期間については、第三者委員会の判断に委ねられています。そのため、現時点で具体的な時期をお伝えすることは難しい状況です。
82	今回の不適切事案は、正直にまともに審査を受けても通らない可能性があったから行ったのではないのか。自信があればこのようなことはしないはず。本当にまともに行って、それでやはりダメだったという方が、みんなは納得する。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、原因や背景、関係者の関与の実態などは、現時点で当社として十分に把握できていません。現在は、当社から独立した第三者委員会において詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
83	市民が一番望んでいることは、今ある浜岡原子力発電所の安全性だと思う。東日本大震災や能登半島地震を踏まえ、今後起きるであろう南海トラフ地震は相当大きな地震であり不安を抱える中で、本当に安全に機能されるの你放心だと思っている。使用済燃料の管理については、万全な体制で適切な維持管理に努めていただきたい。使用済燃料が保管されている燃料プールの温度は、今何度くらいなのか。完全に冷え切る時はくるのか。南海トラフ地震は経験をしたことがなく、どのくらいの大きさなのか未知数であるため、事故のリスクを減らせるように、そして地域住民が安心して暮らせるよう情報発信をお願いしたい。我々の生活には電気は欠かせなく中電に頼るしかない。数年前、台風の影響で3日間ほど停電した。その時ほど電気のありがたさを感じたことはない。中電には安全で安心な電力供給に努めていただきたい。	現在、浜岡原子力発電所では3・4・5号機はいずれも停止中であり、使用済燃料および使用中の燃料は、合計6,542体すべてを燃料プールで保管しています。燃料プールは深さ約12m、厚さ約2mの鉄筋コンクリート構造で、側面・底面を貫通する配管がなく、漏えいリスクが小さい構造です。燃料プールの温度は外気温の影響もありますが、30℃前後を維持しております。また、使用済燃料から発生する熱は十分に低下していますが、冷却し続ける必要があります。仮に注水が停止した場合でも、燃料が露出するまで1か月以上の余裕があることを確認しています。浜岡原子力発電所では、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に、当社が自主的に設定した改造工事用地震動に基づき燃料プール等の重要な設備の耐震性を評価し健全性を確認しています。
84	基準地震動を策定するにあたり、なぜこのような不正を犯したのか見えてこない。策定作業をしていたスタッフの中で、この何年かの間で、「ここは、おかしい」と気づかなかったのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
85	仕事で発電所を視察した際、防災やメンテナンスについて、ここまでやるのかと思うくらい徹底していたのが記憶に残っている。自主的に改造工事用地震動を策定したのが2013年4月で、既にこの時点で地震に対して大丈夫だと自信を持っていた。それなのに、今回、基準地震動の策定において数値を変えたことには、余程何らかの理由があったのか、それを覆してまでやったことには、何か悪いことがあったのではないかと疑ってしまう。再稼働に向けて一生懸命やってきたのに本当に残念でならない。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
86	3・4号機1200ガル、5号機2000ガルの改造工事用地震動は、東日本大震災では550ガル。5号機で比較すると約4倍の大きさに耐えられる設備ということか。	改造工事用地震動の1200ガル、2000ガルという値と、東日本大震災時の550ガルは評価の場所や観測地点が異なるため単純に比較することはできません。改造工事用地震動は内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に、当社が自主的に設定しており、それに基づき耐震性を確認しています。
87	新規制基準適合性審査にはどのくらいの期間かかっているのか。	浜岡原子力発電所3・4号機については、2014年から2015年にかけて新規制基準への適合性審査の申請を行いました。基準地震動や津波に関する基本設計の審査段階を終え、設備審査に進む予定でしたが、今回の事案を受け、原子力規制委員会から審査を白紙に戻す旨の発言がありました。今後は、原子力規制委員会の指示に従って対応してまいります。
88	運転員の技術伝承はやっているのか。	運転員の技術伝承は継続して行っています。現在、発電所は停止していますが、原子炉を安全に運転・停止・管理するための技術や判断力は、日常的な訓練によって維持・向上させています。具体的には、実際の運転操作を再現できる訓練用シミュレーターによる訓練、ベテラン運転員が若手を指導するチーム訓練、トラブルや異常時を想定した繰り返し訓練などを通じて、経験の伝承だけでなく、世代を超えた技術の引き継ぎを行っています。また、一定の知識・技能を満たさなければ運転員として認められない仕組みになっており、技術が十分でないまま運転を行うことはありません。
89	内閣府の南海トラフ巨大地震モデルにおけるマグニチュード9に対し、余裕をもって地震に耐えられるものにしてあり、そのような評価をしているということか。	当社は、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に、自主的に改造工事用地震動を設定し、それに基づき設備の耐震性を評価しています。改造工事用地震動は、3・4号機で1200ガル、5号機で2000ガルとしており、十分な余裕を持った地震動を想定しています。
90	過小評価と言われている基準地震動と、2000ガル（改造工事用地震動）は関連あるのか。改造用地震動と基準地震動は同じなのか。	改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に、当社が自主的に設定した地震動であり、国の審査対象ではありません。一方、基準地震動については国の基準に基づき策定・審査を受けるものであり、位置づけが異なります。
91	改造工事用地震動はあくまで自社が評価して策定したもので、それが本当に耐えられるのか点検チェックまで行っているということか。改造工事用地震動は、規制委員会の審査・評価を受けたのか。	浜岡3、4、5号機については原子炉建屋、压力容器、格納容器など主要な施設については改造工事用地震動による耐震性を有していることを確認しています。配管・電路類サポートなどその他の設備についてはまだ改造工事用地震動による確認をしていますが、過去に耐震裕度向上工事を行っていること、また耐震設計についてはさまざまな保守性を有していることから、これらの設備についても実力的に耐震性は有していると考えています。改造工事用地震動は、福島第一原子力発電所事故後に、当社が自主的に設備の耐震性を確認するために策定したものであり、国の審査対象ではありません。
92	基準地震動は全て「ガル」で示されるのか。	基準地震動は、特に耐震設計においては加速度を示すガルで表されることが一般的です。しかし、地震動の評価には速度や変位といった他の指標も用いられることがあり、目的や地域によって異なる表現がされることもあります。
93	福島第一原子力発電所では、マグニチュード9で550ガルであったようだが、浜岡も福島と同じ地震動で設定されているのか。	地震動の揺れについて、発電所ごとに立地条件や地質条件が異なるため、各電力会社がそれぞれの地点で想定される地震を評価し、その妥当性が審査される仕組みとなっています。
94	第三者委員会で調査が行われているが、今後、その状況などについてまた説明していただける機会はあるのか。区民のみさんの理解を得られる機会を作り、幅広く情報提供していただけるとありがたい。アメリカがイランを攻撃しており、世界情勢が揺らいでいる。電力には何か影響はあるのか。色々な電源をベストミックスして地域のみさんの生活や経済が困らないような電力を供給していただけるよう努力してほしい。	本事案が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。日本では、エネルギー安全保障や脱炭素の観点から、原子力を安全性確保を前提に活用していく政策方針が示されています。浜岡原子力発電所においては、まず本事案の原因究明と再発防止策の実行が最優先であると考えています。

95	インターネットで調べると改造工事用地震動とは、「原子力発電所等の重要施設において安全性を高めるため、過去の知見（内閣府モデル）に基づき増幅特性を反映させて設定させる最大1900ガル程度の仮想的入力地震動」とされている。だから内閣府が関係しているということか。	改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の知見を踏まえ、様々な可能性を考慮し、内閣府が策定したマグニチュード9の南海トラフ巨大地震モデルに余裕を持たせて、当社が自主的に策定した地震動です。3・4号機で1200ガル、5号機で2000ガルとしています。
96	我々住民としては、住んでいる地域で放射線をどれだけ受けているのかが凄く心配です。放射線を測る装置が何処に設置されていて、その情報が何処で見れるのかの方が大切だと思います。情報がホームページに掲載されていとのことだが、若い人は見ることができると思うが、我々のような、ちょっと年を取った者は、ホームページを見るということ自体が億劫であるので、そういう人たちにも情報が見れるようにしてもらいたい。	各地域の放射線量については、当社および静岡県環境放射線監視センターのホームページで見ることができるとともに、静岡県が発行する「原子力だより」により、環境放射線の調査結果を確認することができます。
97	安全対策について、これまでの信頼関係を踏まえて、個人的には信頼している。第三者委員会調査が終了する目的はいつか。都度、報告がされているのか。また調査の報告はいつ、どのように公表するのか。調査結果が出た段階で、公表の対象の範囲というのはどのように考えているか。基本的には、県内やこの地域、国レベル（全国ニュース）で公表するのか。	本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
98	今回の案件については、信頼関係を損なうことであり、断じてあってはならない内容である。我々には細かなことは分からないが、今後、安全・安心な生活が約束できるような信頼関係づくりを期待しているため、手を抜かないように一生懸命やってほしい。	当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事案を起こさないという覚悟を持って、今回の事案の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきたいと思います。
99	規制委員会への説明の方法と異なる方法で基準地震動を算定したことによる数値的な違いはどれぐらいの差があるのか。	適切な方法で評価した場合に基準地震動がどのような結果になったかについては、現時点では把握できておらず、必要に応じて第三者委員会における調査の中で確認されるものと考えています。調査結果の公表については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるよう検討してまいります。
100	過小評価とは、審査が通りやすいデータを選定したということなのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
101	検証した結果、今よりも厳しくなることも有り得るのか。	適切な方法で評価した場合に基準地震動がどのような結果になったかについては、現時点では把握できておらず、必要に応じて第三者委員会における調査の中で確認されるものと考えています。調査結果の公表については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるよう検討してまいります。
102	基準地震動は、原子力発電所の立地によって変わってくるのか。また、各電力会社が設定しているのか。	地震動の揺れについて、発電所ごとに立地条件や地質条件が異なるため、各電力会社がそれぞれの地点で想定される地震を評価し、その妥当性が審査される仕組みとなっています。
103	データの取り扱いについては、評価をする部署だけの問題なのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、現時点で当社として十分に把握できていません。本事案については、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
104	過小評価は、上層部も承知の上で進められていたのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、現時点で当社として十分に把握できていません。本事案については、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
105	会社内で、どの代表波を選定したかを報告する仕組みになっていなかったのか。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、現時点で当社として十分に把握できていません。本事案については、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
106	改造工事用地震動は、現状問題ないという認識でよろしいのか。	改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に当社が自主的に策定した地震動です。現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいております。調査や水平展開を行っていく中で、必要に応じ、改造工事用地震動への影響についても確認しています。
107	中部電力は大きな組織なので、色々な部署がある中で風通しが悪かったのではなかったのか。	本事案を受け、第三者委員会による事実関係の調査と並行して、当社内においても、組織体制やガバナンス、コンプライアンス意識、組織風土などについて課題の洗い出しを行っています。特に原子力部門については、会社として覚悟を持って、二度と同様の事案を起こさないための対策を検討・実行してまいります。
108	市民の安全に関わることなので、しっかりと原因と対策を図ってほしい。	今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは、現時点で当社として十分に把握できていません。本事案については、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。当社としては、その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。
109	まだ「疑い」や「可能性がある」という段階なのに、「申し訳ございませんでした」と謝罪するのはよく分からない。	当社が社内調査を行っていた段階では、詳細な事実関係を十分に把握できていなかったため、「異なる方法や意図的な方法で地震動を選定していた疑いがある」という表現を用いました。しかしながら、本事案により地域の皆さまにご心配をおかけしている状況であるため、お詫び申し上げます。
110	何をもち、中電は「信頼」と考えているのか。	今回の事案により、その期待を裏切る結果となってしまったこと、また地震に関する評価をめぐり、発電所の安全性そのものに対してもご不安をおかけしたことについて、お詫び申し上げます。当社は、「地域の信頼なくして発電所の運営は成り立たない」という認識のもと、全社一丸となって信頼回復に取り組んでまいります。なお、本事案に至った背景や関係者の認識については、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
111	中電は原発のことをどのように考えているのか。1つ間違えれば取返しのつかない事態になるという意識でいるのか。それとも、安全だから大丈夫という意識でいるのか。	今回の事案により、その期待を裏切る結果となってしまったこと、また地震に関する評価をめぐり、発電所の安全性そのものに対してもご不安をおかけしたことについて、お詫び申し上げます。当社は、「地域の信頼なくして発電所の運営は成り立たない」という認識のもと、全社一丸となって信頼回復に取り組んでまいります。なお、本事案に至った背景や関係者の認識については、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
112	中電は本事案を、どういった経緯で発見されたか。また、発見後、どういった対応をされたか。	本事案は、昨年5月に原子力規制委員会から、基準地震動の策定方法について調査を行うよう当社に連絡があったことを契機に明らかになりました。原子力規制委員会からの要請を受け、策定方法の裏付けとなる資料を確認する中で、委託先の報告書を確認する中で不適切な事実が判明したため、当社内で調査を進め、事案が判明しました。当社は、本事案を確認した後、社外の弁護士による関係者への聞き取り調査などを行いました。データそのものや関係者間の詳細なやり取りまで確認するには至りませんでした。その後、当社の調査結果を含めて第三者委員会に引き継ぎ、事実関係や本事案が発生した理由、背景について、より詳細な調査が進められています。当社としては、原因や事実関係が明らかになり次第、あらためて皆さまにお伝えする考えです。
113	中電が本事案を発見できなかったという事は、こういった事案がまだ出てくるかもかもしれませんね。	第三者委員会には、まずは本事案（浜岡原子力発電所の地震動評価における代表波選定）に係る事実関係の調査・認定のほか、それに基づく評価・原因分析、再発防止策の提言を行っていただいております。それ以外の調査等については、必要に応じて第三者委員会との間で検討・協議等を行うことになると考えています。
114	今回の説明で安全を確認しているということは分かったが、審査は止まっている状況であり、いつになったら審査を再開していただけるのか。	本事案を受け、まずは事実関係の解明を最優先としています。浜岡原子力発電所では、基準地震動や津波に関する基本設計の審査段階を終え、設備審査に進む予定でしたが、今回の事案を受け、原子力規制委員会から審査を白紙に戻す旨の発言がありました。今後は、原子力規制委員会の指示に従って対応してまいります。
115	発電所敷地内の断層が動いていないことを証明できれば、再稼働が見えてくると説明を受けていたが、今回の件で再稼働の見通しがなくなったのか。	再稼働について、現時点で具体的にお答えできる状況にはありません。本件に関し、発電所の安全性にご不安おかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事案であると極めて深刻に受け止めております。現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事案の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
116	地元の祭りに参加いただくなど、現場の方が一生懸命動いているのに、机上で技術検討している方が信用を失墜するような行いをしている。現場の努力を何だと思っているのか。	今回の事案により、その期待を裏切る結果となってしまったこと、また地震に関する評価をめぐり、発電所の安全性そのものに対してもご不安をおかけしたことについて、お詫び申し上げます。当社は、「地域の信頼なくして発電所の運営は成り立たない」という認識のもと、全社一丸となって信頼回復に取り組んでまいります。なお、本事案に至った背景や関係者の認識については、当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
117	今回の件で、掛川駅南口に設置してある中部電力のモニターの表示も消えてしまっている、そういったものを活用し市民に向けてもっと説明すべきではないのか。	調査結果の公表については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるよう検討してまいります。
118	基準地震動と敷地内の断層は、審査上関係はあるのか。	敷地内の断層は、活断層ではないことを審査で説明しているため、基準地震動の評価には含まれていません。
119	今回の件を踏まえて、地域貢献活動は今後自粛していくのか。	今回の事案により、その期待を裏切る結果となってしまったこと、また地震に関する評価をめぐり、発電所の安全性そのものに対してもご不安をおかけしたことについて、お詫び申し上げます。当社は、「地域の信頼なくして発電所の運営は成り立たない」という認識のもと、全社一丸となって信頼回復に取り組んでまいります。地域貢献活動については、地域の皆さまと相談してまいりたいと存じます。

120	不適切事案は、どういう経緯で発覚したのか。経緯を知りたい。	<p>本事案は、昨年5月に原子力規制委員会から、基準地震動の策定方法について調査を行うよう当社に連絡があったことを契機に明らかになりました。</p> <p>原子力規制委員会からの要請を受け、策定方法の裏付けとなる委託先の報告書を確認する中で不適切な事実が判明しました。当社は、本事案を確認した後、社外の弁護士による関係者への聞き取り調査などを行いました。データそのものや関係者間の詳細なやり取りまで確認するには至りませんでした。</p> <p>その後、当社の調査結果を含めて第三者委員会に引き継ぎ、事実関係や本事案が発生した理由、背景について、より詳細な調査が進められています。</p> <p>当社としては、原因や事実関係が明らかになり次第、あらためて皆さまにお伝えする考えです。</p>
121	今回の不適切な行為は、結論ありきで作業を進めていたという認識でよいのか。	<p>今回の基準地震動の策定に関する不適切な事案について、その原因や背景、関係者の関与の実態などは当社から独立した第三者委員会において、偏りのない立場から詳細な事実関係の調査が進められています。その調査結果を真摯に受け止め、原因に正面から向き合い、信頼回復に向けた体制の見直しや再発防止策に取り組んでまいります。</p> <p>また、原因や事実関係が明らかになり次第改めて皆さまにお伝えする考えです。</p>
122	第三者委員会の調査結果は、いつ頃公表されるのか。	<p>第三者委員会による調査については、当社からの厳格な独立性および中立性を確保して進められており、当社は、その具体的な内容等を知り得る立場にないため、お答えできません。</p> <p>調査結果については、広くお知らせすることを検討しています。</p>
123	第三者委員会は、どのくらいの頻度で会議を開催しているのか。	<p>第三者委員会による調査については、当社からの厳格な独立性および中立性を確保して進められており、当社は、その具体的な内容等を知り得る立場にないため、お答えできません。</p> <p>調査結果については、広くお知らせすることを検討しています。</p>
124	使用済燃料の温度はどのくらいなのか。また、燃料プール内の水温は何度なのか。	<p>使用済燃料の発熱量は直接的に測ることができないため、数値でお答えすることはできませんが、使用済燃料が保管されている燃料プールの水温は概ね30°C前後で管理されており、現在も安定的に冷却・保管されています。</p>
125	燃料を冷やすために、水の補給はどのくらいの頻度で行っているのか。	<p>燃料プールへの水の補給は、「何日に1回」といった決まった頻度で行っているものではありません。</p> <p>燃料プールでは、水の量（=水位）および水の温度を常時監視しており、基準から外れる可能性がある場合に、必要に応じて補給を行います。通常の安定した状態では、プール内の水は循環冷却されており、自然蒸発した分の水を補給しています。</p> <p>補給が必要な場合も、決められた手順に基づき、安全を確認しながら確実に行う仕組みになっています。</p>
126	社会情勢もあるが、中部電力として電気料金を値上げしないために何か取り組んでいることはあるのか。	<p>電気料金については、社会情勢や燃料価格の影響を受ける面はありますが、中部電力としても、できる限り料金を抑えるための取り組みを行っています。</p> <p>具体的には、発電や設備保守の効率化によるコスト削減、燃料の調達方法の工夫による調達コストの低減、業務全体の見直しや経費削減の継続などに取り組んでいます。再生可能エネルギーの活用や、長期的に安定した電源の確保にも取り組むことで、将来にわたって電気を安定した価格でお届けできるよう努力しています。</p> <p>電気料金は、国の制度や燃料価格などの影響も受けますが、事業者としてできる限りの工夫と努力を続けているという点をご理解いただければと思います。</p>
127	燃料プールは原子炉建屋の最上階にあるが、地震が発生した場合、燃料が倒れたり、水が漏えいしたりすることはないのか。	<p>燃料はプールの中に設置された燃料ラックに収められており、地震時にも倒れないよう、しっかりと固定された構造になっています。</p> <p>また、燃料プールそのものも、改造工事用地震動（3・4号機1200ガル、5号機2000ガル）に対して耐震性を確認しています。</p> <p>水についても、地震による揺れや水面の動きを考慮した上で、十分な余裕を持った水位と、漏えいしにくい構造としています。</p> <p>さらに、万一に備えて水位を監視する設備や、水を補給する手段も複数用意しています。</p> <p>こうした対策により、地震によって燃料が不安定になったり、プールの水が失われることのないよう、安全を確保しています。</p>
128	原子力規制委員会が、どこまで第三者委員会を信用しているのか。審査が再開するための信頼が第三者委員会にあるのか疑問に思う。	<p>第三者委員会は、当社と利害関係のない弁護士3名で構成され、事実関係の調査・認定、原因分析および再発防止策の提言を行っています。</p> <p>当社から独立した立場で調査が進められているため、客観的な調査結果が得られるものと考えています。</p> <p>また、原子力規制庁も独自に立ち入り検査を行っており、その結果を踏まえて、原子力規制委員会としての判断が下されることとなります。</p>
129	中部電力のガバナンスやコンプライアンスに弱みがあるのではないのか。電気は我々の生活に欠かせないものであり、電力の安定供給は不可欠である。中部電力は、二度とこのような事象を発生させないよう頑張ってください。	<p>本事案を受け、第三者委員会による事実関係の調査と並行して、当社内においても、組織体制やガバナンス、コンプライアンス意識、組織風土などについて課題の洗い出しを行っています。</p> <p>特に原子力部門については、会社として覚悟を持って、二度と同様の事案を起こさないための対策を検討・実行してまいります。</p>
130	これまでに確認した不適切な内容について、もう少し詳しく説明があると思ったのですが、残念です。ここが一番ポイントになる大事な部分だと思うので、内容が分かったら、もう少しオープンに皆さんに分かるように説明した上で、今後どうするかを、また聞かせて欲しいと思います。	<p>本事案が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。</p> <p>本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明していく予定です。</p>
131	疑いがあることが確認されたということの中で、公表できる範囲で良いが、その経緯で説明できる部分があったら教えて欲しい。	<p>本事案が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。</p> <p>本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明していく予定です。</p>
132	説明の中で使用済燃料を保管している設備が、「今は大丈夫で、安全に保管されている」との事だが、停止している原子力発電所の審査は行われないのか。	<p>本事案を受け、まずは事実関係の解明を最優先としています。</p> <p>審査については、原子力規制委員会の判断に従ってまいります。</p> <p>浜岡原子力発電所では、基準地震動や津波に関する基本設計の審査段階を終え、設備審査に進む予定でしたが、今回の事案を受け、原子力規制委員会から審査を白紙に戻す旨の発言がありました。</p> <p>今後は、原子力規制委員会の指示に従って対応してまいります。</p> <p>使用済燃料の保管については、これまで国の認可を受けたルールに基づき実施しており、原子力規制委員会の検査官による日常的な検査も受けています。</p>
133	何かあって燃料プールへの注水が止まった場合、一ヶ月程度は大丈夫との事だが、一ヶ月の間に何とかなる目途がたっているのか伺いたい。	<p>使用済燃料プールの水位が燃料の上端まで低下するには1か月以上を要するため、その間に十分な注水を行える体制を整えています。</p> <p>また、発電所内には7日間以上対応可能な水や燃料を確保しており、その後についても外部からの支援を受けながら、継続的に注水できる体制を確保しています。</p>
134	燃料プール内に注水する水は、海水なのか。	<p>燃料プールに注水する水は、新野川より取水し、脱塩処理した不純物が少ない水です。</p>
135	このような不祥事が無いことを望んでいる。	<p>本事案については、当社の姿勢や組織の在り方が問われる極めて重い事案であると受け止めています。第三者委員会の調査結果を踏まえ、二度と同様の事案を起こさないよう会社をあげて取り組んでまいります。</p> <p>現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。</p> <p>本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。</p>
136	原子力規制委員会と審査の議論をする前に、外部で構成した第三者委員会等で先に議論しておけば、不正は防止出来たのではなかったのか。	<p>本事案が発生した原因や経緯については、現時点では当社として十分に把握できていません。</p> <p>現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。</p> <p>本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。</p>
137	不正をしても浜岡原子力発電所の安全性は担保されているとの事だが、だとすると不正は何だったのか。	<p>浜岡3号機・4号機の新規制基準適合性審査を受けてまいりましたが、このたび、2019年1月の原子力規制委員会の審査会合で説明した内容と異なる方法や意図的な方法で地震動を選定していた疑いがあることを確認しました。</p> <p>これにより、基準地震動が過小評価となっていた可能性があります。</p> <p>本事案が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。</p> <p>本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。</p>
138	改造工事用地震動は、本当に大丈夫なのか。	<p>改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に当社が自主的に策定した地震動です。</p> <p>現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいております。調査や水平展開を行っていく中で、必要に応じて、改造工事用地震動への影響についても確認しています。</p>
139	既存の設備は、改造工事用地震動を基に評価した上で大丈夫との事だが、国の審査を受けていないのに、何故大丈夫と言えるのか。	<p>改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に、当社が自主的に設定した地震動であり、この地震動を用いて、施設の評価や補強工事を実施しています。</p> <p>これらの対策についても、今後、原子力規制委員会の審査の中で適宜、基準地震動による再評価が行われる予定でした。</p>
140	福島第一原子力発電所の事故が終息していない中で、こんな不正があるとは信じられない。	<p>本事案を受け、第三者委員会による事実関係の調査と並行して、当社内においても組織体制やガバナンス、コンプライアンス意識、組織風土などについて課題の洗い出しを行っています。</p> <p>特に原子力部門については、会社として覚悟を持って、二度と同様の事案を起こさないための対策を検討・実行してまいります。</p> <p>本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえ、あらためて皆さまにご説明する考えです。</p>
141	今後、電力需要が増えていく中で、電力のインフラは大変重要である。浜岡原子力発電所の再稼働が遠のいたことは誠に残念であるが、中部電力は社会的使命を担っている企業なので、諦めずに頑張ってください。	<p>本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事案であると極めて深刻に受け止めております。</p> <p>現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事案の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。</p>
142	資料のまとめにある、健全性の確認は誰がするのか。私は再稼働賛成の立場であったため、非常に残念である。今後、このような事が無いようにしてもらいたい。	<p>現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいております。</p> <p>本事案に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。</p>
143	基準地震動とは何ですか。	<p>基準地震動は、新規規制基準に基づき国の審査を受けるために策定する地震動です。</p>

144	安全性に係る重要な事だと思うが、なぜ、本事業を起こしてしまったのか。	本事業が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。調査の中で原因や背景が明らかにされるものと考えています。調査結果を踏まえ、あらためて皆さまにご説明する考えです。
145	中電から第三者委員会へは、どのような説明をしているか。	現在、当社から完全に独立した第三者委員会において、事実関係の詳細な調査が進められており、その調査内容については、当社も把握できない状況にあります。調査結果が明らかになった段階で、実際に行われていた内容に即した表現や説明を行う考えです。
146	第三者委員会の調査結果が分かり、また説明出来るタイミングになればお願いしたい。	現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。本事業に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえ、あらためて皆さまにご説明する考えです。
147	基準地震動策定における、代表波選定の選定作業は時間が掛かるものなのか。	本事業が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。本事業に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
148	避難計画等に関しても、地域への説明がもっと必要だと思う。	まずは、一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施したいと考えておりますので、避難計画等の防災関係についても、引き続き、静岡県と連携し、検討を進めてまいります。
149	今回の不適切事象は、地震の審査データに対して不正があったという認識で良いのか。	浜岡3号機・4号機の新規規制基準適合性審査を受けてまいりましたが、このたび、2019年1月の原子力規制委員会の審査会合で説明した内容と異なる方法や意図的な方法で地震動を選定していた疑いがあることを確認しました。
150	福島第一原子力発電所の事故から15年以上が経過し、テレビや新聞記事で当時の悲惨な状況が放映または記事化されているが、あの映像を見ると心が痛む。あの悲惨な事故を二度と発生させないためにも、不正は絶対にやってはいけない。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
151	浜岡原子力発電所を視察した際、安全対策によく取り組んでいると感心した矢先に、今回の事象が発生し残念でならない。エネルギーの乏しい日本では、原子力は個人的には必要だと思っているので、このような事が二度と発生しないよう、再発防止策を徹底していただきたい。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
152	難しくよく分からないが、簡単に言うと基準地震動の策定の仕方が間違っていたという事なのか。	浜岡3号機・4号機の新規規制基準適合性審査を受けてまいりましたが、このたび、2019年1月の原子力規制委員会の審査会合で説明した内容と異なる方法や意図的な方法で地震動を選定していた疑いがあることを確認しました。
153	改造工事用地震動は、あくまで参考値であると思うが、基準地震動の正しい値はどのぐらいなのか。	適切な方法で評価した場合に基準地震動がどのような結果になったかについては、現時点では把握できておらず、必要に応じて第三者委員会における調査の中で確認されるものと考えています。調査結果の公表については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるよう検討してまいります。
154	第三者委員会の調査結果公表後に、今回のような報告・説明がなされると思うが、全てを正直に報告・説明していただきたい。	現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。本事業に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
155	基準地震動と改造工事用地震動は何が違うのか。また、基準地震動は、改造工事用地震動と比べて条件が厳しいのか。	基準地震動は、新規規制基準に基づき国の審査を受けるために策定する地震動です。一方、当社が自主的に策定した改造工事用地震動は、3・4号機で1200ガル、5号機で2000ガルとしており、今回不適切な取扱いの疑いがあった基準地震動と、揺れの大きさとしては概ね同程度と評価しています。ただし、地震動の評価は単純に数値のみで判断できるものではなく、波形や特性なども含めた総合的な評価が必要です。
156	正しい方法で計算した場合はどうなるのか。	適切な方法で評価した場合に基準地震動がどのような結果になったかについては、現時点では把握できておらず、必要に応じて第三者委員会における調査の中で確認されるものと考えています。調査結果の公表については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるよう検討してまいります。
157	今回の不正は、簡単に言うと中部電力が嘘をついていたということなのか。	本事業が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。第三者委員会は当社から完全に独立して調査を行っているため、その調査内容を当社が把握できない状況にあります。今後、調査の中で原因や背景が明らかにされるものと考えています。調査結果については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるように検討してまいります。
158	不正は悪意を持っていたのか。それとも、技術者としての理屈があって行ったものなのか。悪意を持っていなかったことを信じたい。	本事業が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。第三者委員会は当社から完全に独立して調査を行っているため、その調査内容を当社が把握できない状況にあります。今後、調査の中で原因や背景が明らかにされるものと考えています。調査結果については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるように検討してまいります。
159	第三者委員会で調査中なので、現時点において具体的な説明等が出来ないことは理解できるが、中部電力においては、確固たる調査結果が出てきてから、今後どうするのかを明確にさせていただきたいし、嘘をつく体質だったのであれば、廃炉も有り得ると思う。従って、原子力事業の継続ありきの考えは、捨てていただきたい。	当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事象を起こさないという覚悟を持って、今回の事象の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきたいと思えます。
160	一度失った信頼を取り戻すのは、地道な努力が必要であるが、諦めずに頑張っていたいただきたい。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
161	中部電力として、今までの審査を取上げて、一から審査をやり直す考えなのか。燃料プールの水温は、何度に保たれているのか。	浜岡原子力発電所では、基準地震動や津波に関する基本設計の審査段階を終え、設備審査に進む予定でしたが、今回の事象を受け、原子力規制委員会から審査を白紙に戻す旨の発言がありました。今後は、原子力規制委員会の指示に従って対応してまいります。燃料プールの水温は概ね30°C前後で管理されており、現在も安定的に冷却・保管されています。
162	基準地震動は、どれくらい過小評価していたのか。	適切な方法で評価した場合に基準地震動がどのような結果になったかについては、現時点では把握できておらず、必要に応じて第三者委員会における調査の中で確認されるものと考えています。調査結果の公表については、可能な限り分かりやすい形で皆さまにご説明できるよう検討してまいります。
163	使用済み燃料の今現在の発熱量はどれくらいなのか。	使用済み燃料の発熱量は直接的に測ることができないため、数値でお答えすることはできませんが、使用済み燃料が保管されている燃料プールの水温は概ね30°C前後で管理されており、現在も安定的に冷却・保管されています。
164	モニタは、常時監視をしているのか。異常になったら分かるのか。	発電所に設置している放射線モニタは常時監視をしており、仮に放射性物質が漏えいする事象が発生した場合は、異常を検知し、24時間中央制御室に常駐している運転員へ知らせます。
165	記者会見での社長のコメントが人ごとに聞こえた。どの様な事象があったのか、説明してもらいたかった。	本事業が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。本事業に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
166	第三者委員会は、専門家が入っているのか。	本事業に関し、当社は3名の弁護士からなる第三者委員会を設置しています。第三者委員会には、事実関係の調査、認定、原因分析、再発防止策の提言をお願いしています。また、地震動評価など専門性の高い内容については、必要に応じて地震分野の専門家や有識者をアドバイザーとして起用すると伺っておりますが、その詳細については当社は把握していません。委員はいずれも当社と利害関係のない独立した立場の弁護士です。調査結果がまとまり次第、適切に皆さまへ説明してまいります。
167	中電は区長会での説明で、浜岡は安全です、安全ですと言っていたが、今は本当かな、と言う気持ちになっている。今後、信頼回復するために、何をやっていくのか。	まずは、第三者委員会による調査に全面的に協力していくことで、一刻も早く事実関係を明らかにしていくことが重要だと考えております。同時に、原子力部門の解体的な再構築も視野に入れて、覚悟をもって全力で取り組んでいきます。また、社長以下、本店から浜岡原子力発電所まですべての社員が、「原子力事業は何より地域の皆さまのご理解をいただきながら取り組んでいくもの」であり、「地域の皆さまからの信頼の上に成り立つ事業」であるという認識を改めて強く持ち、失われた地域の皆さまの信頼をゼロから取り戻してまいります。
168	何故、基準地震動を意図的に操作しなければいけなかったのか。誰から圧力が掛かったのか。	本事業が発生した原因や経緯については、現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。本事業に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
169	審査には、どれくらいの人数と時間を掛けていたのか。	原子力土建部内で、基準地震動の審査対応をしているのは、原子力土建部調査計画グループであり、2025年12月31日時点の所属人数は22名です。2015年7月に基準地震動策定に係る初回審査会合が行われ、2023年9月に基準地震動策定に係る審査会合まで、約8年間実施しました。
170	東日本地震で、一番揺れたのはどれくらいの値なのか。資料に書いていないので、心配になる。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。当社として把握はしていませんが、気象庁のデータとして、震度階級において最も大きな揺れ（震度7）を観測したのは、宮城県栗原市（くりはらし）築館（つきだて）となっております。
171	改造工事地震動は、一般の家の10倍くらいなんですか。	改造工事用地震動は、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル（M9）を基に、当社が自主的に設定した地震動です。3・4号機で1200ガル、5号機で2000ガルとしております。
172	そもそも、浜岡は電気をつくっているのか。	2011年5月、国からの要請により、3,4,5号機が停止しており、現在においても停止しております。

173	第三者委員会の委託費は中電が出すのであろう。そういった事であれば忖度が生じるのではないか。	第三者委員会の設置にあたっては、本事業が技術的な内容を含むことから、原子力事業に関する知見を有し、かつ当社と利害関係のない方を委員として選定しました。 調査結果に意図的な影響を与える目的で委員を選定した事実はなく、委員の皆さまには中立かつ公正な立場で調査を進めていただいています。当社としては、調査結果を重く受け止め、必要な対応を講じてまいります。
174	新たな不正が確認されれば、中電は原子力事業をやめる等の意気込みや姿勢が必要であると感じる。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
175	このような事があると、他の電力会社も信用出来なくなる。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
176	今後の説明会は、区長会ではなく一般市民も参加出来るような説明会が必要になるのでは。	現在、当社から独立した第三者委員会を設置し、詳細な事実関係の調査を進めていただいています。 本事業に至った背景や関係者の認識については、第三者委員会において調査が進められており、その結果を踏まえて、あらためて皆さまにご説明する考えです。
177	基準地震動の策定過程については、今後、オープンにしていくべき。	第三者委員会および原子力規制委員会により、基準地震動を策定する過程や記録について調査が進められています。 当社としては、原子力規制委員会の指示に従い、提出可能な資料については順次提出するとともに、確認中の資料についても確認ができ次第、速やかに提出してまいります。 調査の節目ごとに、皆さまにお伝えできる内容については説明していく考えです。
178	第三者委員会の調査結果については、概ねいつ頃公表されるか。	第三者委員会による調査については、当社からの厳格な独立性および中立性を確保して進められており、当社は、その具体的な内容等を知り得る立場にないため、お答えできません。 調査結果については、広くお知らせすることを検討しています。
179	策定した基準地震動が、結果、過小ではなく妥当な数字であったというような結果にはならないか。	当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事象を起こさないという覚悟を持って、今回の事象の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきたいと思っております。
180	資料が難し過ぎて良く分からないところもあるが、とにかく言うのは再発防止策を早急に策定して二度とこのような事象が起こらないよう徹底していただきたいし、再稼動に向けて頑張ってもらいたい。	当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事象を起こさないという覚悟を持って、今回の事象の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきたいと思っております。
181	異なる方法や意図的な方法で地震動を選定していなかったら、基準地震動はどのぐらいの値になっていたのか。	当社がもう一度皆さまに信頼をしていただけるよう、まずは二度とこのような事象を起こさないという覚悟を持って、今回の事象の原因究明と再発防止対策に取り組んでいきます。そして節目節目で皆さまに説明させていただきたいと思っております。
182	第三者委員会の調査結果が出るまでには、時間が掛かりそうですね。	第三者委員会による調査については、当社からの厳格な独立性および中立性を確保して進められており、当社は、その具体的な内容等を知り得る立場にないため、お答えできません。 調査結果については、広くお知らせすることを検討しています。
183	浜岡原子力発電所を何回か視察したことがあるが、その度に一生懸命安全対策に取り組んでいる姿を見てきたので、今回の事象は本当に残念でならない。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
184	今回の事象は、一番大事な信用を無くしてしまったことである。信用を取り戻すには、並大抵のことではないが、これで全てが終わった訳ではないので、しっかり前を向いて頑張っていたきたい。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
185	基準地震動策定におけるデータ作成は、どの位前に行っていて、どの誰が携わっていたか。	本事業の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事象を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
186	事実確認は、当時携わっていた担当者に聞けばすぐに確認できるのではないか。	本事業の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事象を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
187	第三者委員会の調査結果はいつ頃公表されるのか。	第三者委員会による調査については、当社からの厳格な独立性および中立性を確保して進められており、当社は、その具体的な内容等を知り得る立場にないため、お答えできません。 調査結果については、広くお知らせすることを検討しています。
188	第三者委員会の調査結果が出ないと、中電さんも動きようがないし、いつまで経っても稼働出来ないよね。高い電気料金を支払っている我々ユーザーからしたら本当に迷惑である。	本事業の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事象を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
189	委託先が作成したデータを中電がチェック・確認出来ない事が原因ではないか。	本事業の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事象を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
190	中電さんが、今日、ここに来たコンセプト・目的は何か。	本事業を受けて地域の皆さまに状況をお伝えする必要があるとの認識から、また掛川市議会からの要請も踏まえて説明しています。 本事業の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。 今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事象を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。 説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。
191	安全性を説明する資料を中電さんが作成しても信用出来ない。少なくとも第三者委員会等のチェックやお墨付きを貰った方が絶対良いと思う	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
192	使用済燃料は、再処理するためにいずれどこかへ運ぶのか。	使用済燃料は将来、青森県六ヶ所村の再処理工場で再処理することが国の方針です。しかし、六ヶ所再処理工場はまだ本格稼働しておらず、受入れが行えないため、現時点では搬出できません。 六ヶ所再処理工場の稼働までは、発電所敷地内で安全に保管し続けることが基本です。国と電力会社は、再処理の実現と安全な貯蔵を両立させながら、計画的に使用済燃料を管理していく方針です。
193	使用済燃料は、いつ頃から冷却していて、どれ位の量を浜岡で保管しているのか。六ヶ所へ輸送したものもあるのか。	原子力発電所では13カ月に1回運転を停止して設備の点検を行うとともに、原子炉内の燃料の約1/4～1/3を新しい燃料に取り換えます。 原子炉から取り出された使用済燃料は原子炉建屋内の燃料プールで冷却・保管します。 使用済燃料および使用中の燃料は、合計6,542体すべてを燃料プールで保管しています。 使用済燃料輸送実績については、ホームページにてお知らせしています。 https://www.chuden.co.jp/energy/nuclear/hamaoka/hama_about/hama_jissek/shiyoizumi/
194	今回の事象を1月5日に公表しているが、昨年5月にも何か公表したと思うが、これは私の勘違いなのか。	今回の事象については、1月5日に公表を行っております。
195	原子力規制庁への公益通報が昨年の2月にあったとの事だが、内部告発はなかったのか。外部の人は、こんな難しい内容は理解出来ないのでは、社内からの内部告発があったと思うが如何か。	内部通報については、事実の有無も含めて、通報者の保護の観点や第三者委員会の調査に差し支える可能性があるため、回答は差し控させていただきます。また、過去の内部通報においても、誹謗中傷目的のものを除き、対応しなかったという事実はありません。
196	不適切事象があっても、既存設備は安全性が担保されているとの事だが、口先だけのよう感じる。中部電力には口先だけの安全ではなく、真の安全を求めたい。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
197	中部電力として、原子力規制庁から本事業を聞かれるまで何も知らなかったと言うが、そんなはずはないと思う。経営層の問題と思うが、ザルの組織体質と言われても仕方ない。原子力規制庁も本来の審査の中で、なぜ見抜けなかったのか。規制庁もザルだね。	本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事象は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事象であると極めて深刻に受け止めております。 現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事業の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。
198	今回の事象を端的に言うと、データの選定方法について、国に説明していた内容とは違うことをしてしまったということか。	今回の事象は、基準地震動の策定過程における代表波の選定方法について、国の審査で説明した方法と異なる方法が行われていたことが確認されたものです。第三者委員会において調査を行っており、結果が判明次第、皆さまにご説明させていただきます。
199	既存設備を作った時の耐震性については、計算方法が正しくなされていると考えて良いのか。	浜岡原子力発電所では、常に新しい知見を踏まえて、設備の耐震性を確認・対策しており、東北地方太平洋沖地震を踏まえて、3,4号機で1200ガル、5号機で2000ガルの地震動に対しても設備の耐震性評価を行っています。 今回の事象の原因等については、現在、第三者委員会が調査を進めていますが、その結果については、改めて地域の皆さまへの説明を検討しています。

200	第三者委員会による調査はいつまでに完了させる予定なのか。	<p>第三者委員会による調査については、当社からの厳格な独立性および中立性を確保して進められており、当社は、その具体的な内容等を知り得る立場にないため、お答えできません。</p> <p>調査結果については、広くお知らせすることを検討しています。</p>
201	<p>第三者委員会の報告期限が定まっていない様ですが、定まらないとけじめがつかず、報告が「まだです、まだです」となって、ずるずる遅れる懸念がある。一定の時点を区切りとして「この時点までには最終段階にもって行く」といった目標時期を定め、調査・報告を先延ばしにしないようにしてもらいたい。</p>	<p>本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。</p> <p>今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。</p> <p>説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。</p>
202	<p>「異なる方法や意図的な方法で地震動を選定していた疑いがある」との事だが、この方法が正しかったと言えることもあり得るのか。これだけ世間を騒がせておいて疑いとは疑問。素直に不正だったとなぜ言えないのか。</p>	<p>本事案は、昨年5月に原子力規制委員会から、基準地震動の策定方法について調査を行うよう当社に連絡があったことを契機に明らかになりました。</p> <p>原子力規制委員会からの要請を受け、策定方法の裏付けとなる委託先の報告書を確認する中で不適切な事実が判明しました。</p> <p>当社は、本事案を確認した後、社外の弁護士による関係者への聞き取り調査などを行いました。データそのものや関係者間の詳細なやり取りまで確認するには至りませんでした。</p> <p>その後、当社の調査結果を含めて第三者委員会に引き継ぎ、事実関係や本事案が発生した理由、背景について、より詳細な調査が進められています。</p> <p>当社としては、原因や事実関係が明らかになり次第、あらためて皆さまにお伝えする考えです。</p>
203	5号機が3,4号機と比べて、ガル数が大きいのは何故か。	<p>地震動の揺れの大きさについては、発電所ごとに立地条件や地質条件が異なるため、それぞれの地点で想定される地震を評価し、その妥当性が審査される仕組みとなっています。</p> <p>浜岡原子力発電所では、駿河湾を震源とする地震において、5号機周辺で揺れが大きくなる特性が確認されました。これは地下に地震動を増幅させる構造が存在するためであり、活断層によるものではありません。</p> <p>この特性を踏まえ、自主的に策定した改造工用地震動では、5号機についてより大きな揺れを想定しています。</p>
204	過小評価行為が分かったのは内部告発だと言っていたが、中部電力としての組織体質はどうなってるのか。	<p>本事案の原因や経緯については、第三者委員会による事実関係の調査を進めています。現時点で確定的なことをお伝えできず、申し訳ございません。</p> <p>今後、第三者委員会の調査結果を踏まえ、当社として覚悟をもって、二度と同様の事案を起こさないための再発防止策を検討・実行するとともに、節目ごとに皆さまに説明していく予定です。</p> <p>説明方法については、地域の皆さまにご理解いただける形となるよう検討してまいります。</p>
205	使用済燃料は全て浜岡原子力発電所の敷地内に保管されているのか。また、六ヶ所の再処理工場へ持って行くことはできないのか。	<p>浜岡原子力発電所で発生した使用済燃料は、すべて3～5号機の原子炉建屋内にある使用済燃料プールで安全に冷却・管理しており、将来の搬出に備えて乾式貯蔵施設の整備も進めています。</p> <p>使用済燃料は将来、青森県六ヶ所村の再処理工場で再処理することが国の方針です。しかし、六ヶ所再処理工場はまだ本格稼働しておらず、受入れが行えないため、現時点では搬出できません。</p> <p>六ヶ所再処理工場の稼働までは、発電所敷地内で安全に保管し続けることが基本です。国と電力会社は、再処理の実現と安全な貯蔵を両立させながら、計画的に使用済燃料を管理していく方針です。</p>
206	高レベル放射性廃棄物を南鳥島に処分する案が浮上しているが、これに対して中部電力としてどのように考えているのか。	<p>国が小笠原村長に対して、小笠原村南鳥島での文献調査の実施について申し入れを行ったことについては、報道等を通じて承知しています。</p> <p>国においては「最終処分地の選定に向けた調査について、地域任せにすることなく、国の責任で地域にご協力をお願いしていく」旨の方針を示されており、今回の調査申し入れは、本方針に基づいたものであると認識しています。</p> <p>国およびNUMOにおいては、村長や地域の皆さまが有する疑問点や懸念事項等に対して十分な説明を尽くすなど、丁寧な取組を進めていただきたいと思います。</p>
207	テレビで、社長が「知らないところで本事案がなされていた」と言っていたが、本当にそんな事はあり得るのか。普通の企業であれば、重要案件は最上位者である社長の耳に入れておくのが常だと思うが如何か。	<p>2025年5月時点で原子力規制庁からの調査に対応している旨の報告は受けていましたが、その時点においては不適切な事象やその疑いがあるといった報告は受けておらず、本事案について社長まで報告を行ったのは12月2日でした。</p> <p>健全な組織ではないのご指摘は、真摯に受け止め、第三者委員会による調査に全面的に協力するとともに、ガバナンス、コンプライアンス、組織風土等の課題を洗い出し、原子力部門の解体的な再構築に向けて全力で取り組んでまいります。</p>
208	南海トラフ地震は必ず発生すると思っているが、浜岡原子力発電所があつた場所に建設されていることは適正だと思っているのか。	<p>本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事案であると極めて深刻に受け止めております。</p> <p>現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事案の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。</p>
209	東日本大震災のような巨大地震が発生しても、福島第一原子力発電所のような事故を浜岡 原子力発電所では発生させないと言い切れるのか。言い切れるなら、その理由も伺いたい。	<p>本件に関し、発電所の安全性についてご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。今回の事案は、地域の皆さまからの当社原子力事業に対する信頼を失墜させ、事業の根幹を揺るがしかねない事案であると極めて深刻に受け止めております。</p> <p>現在、第三者委員会による調査や原子力規制庁の規制検査が進められています。当社はこれらの調査や検査に真摯に対応してまいります。一刻も早く本事案の事実関係の把握と原因究明を図り、再発防止策を実施してまいります。</p>